第３回 世田谷区立梅丘中学校（区立児童館との複合化）改築基本構想検討委員会

会議次第

令和８年１０月２２日（木）午前１０時００分～
会場：梅丘中学校 ランチルーム

【議題】

１　第２回検討委員会議事要旨について
資料１　第２回検討委員会議事要旨

２　基本方針（案）について
資料２　基本方針（案）

３　生徒ワークショップ実施報告について
資料３　生徒ワークショップ実施報告

４　中間説明会の実施状況について
資料４　中間説明会開催報告

５　アンケート集計結果について
資料５－１　生徒アンケート集計結果
資料５－２　児童（小４～小６）アンケート集計結果
資料５－３　教職員アンケート集計結果
資料５－４　保護者・近隣住民アンケート集計結果
資料５－５　児童（小１～小３）児童館アンケート集計結果

６　平面計画（案）について
資料６　平面図（案）

７　工事計画（案）について
資料７　工事ステップ図（案）

８　基本設計で考慮すべき事項（案）について
資料８　基本設計で考慮すべき事項（案）

９　改築だより第３号（案）について
資料９　梅丘中学校改築だより第３号（案）

【次回検討委員会】
令和８年１２月８日（火）午後２時～
会場：梅丘中学校 ランチルーム

資料１

第２回
世田谷区立梅丘中学校(区立児童館との複合化)改築基本構想検討委員会　議事要旨

日　　時	令和８年７月１４日（火）午前１０時００分～午前１１時４５分
場　　所	梅丘中学校　ランチルーム
議　　題	１．第１回検討委員会議事要旨の確認について：(資料１) ２．基本方針（素案）について：(資料２) ３．配置計画(案)について：(資料３) ４．アンケート（案）について：(資料４－１～５) ５．改築だより第２号（案）について：(資料５) ６．生徒ワークショップ実施結果（速報）について：(資料６)
配布資料	資料１　第１回検討委員会議事要旨（案） 資料２　基本方針（素案） 資料３　配置計画案の比較検討 資料４－１　生徒用アンケート（案） 資料４－２　児童用（小４～小６）アンケート（案） 資料４－３　教職員用アンケート（案） 資料４－４　保護者・近隣住民用アンケート（案） 資料４－５　児童用（小１～小３）児童館アンケート（案） 資料５　梅丘中学校改築だより第２号（案） 資料６　生徒ワークショップ実施結果（速報）

議　　題	議事内容（要旨）	
１.第１回検討委員会議事要旨の確認について	事務局	資料１について説明。ホームページに公表する予定であるため、内容に修正がある場合は７月２１日(火)までに事務局まで連絡してほしい。修正があった場合には修正稿を再度配信する。
２.基本方針（素案）について	事務局	資料２について説明。赤の下線を引いている部分が前回の検討委員会にて提示した基本方針たたき台からの変更点である。
	委員	３番のテーマと文章内にて、安全と安心という言葉が混在している。安心と安全は別の言葉であるため、「安心して学び～」の部分については内容を見直した方が良い。安全という言葉を物理的な環境について記載するべきかと思う。
	事務局	内容について再度検討する。
	委員	前回の検討委員会において、１、３、４、５番のテーマは児童館についても記載した方が良いという意見があったと思う。児童館が主語となるテーマの作成も必要という意見もあったが、その点についてはどのように考えられているか教えてほしい。

	事務局	児童館については２番のテーマ内に集約している。学校と児童館のどちらも包含するかたちで「施設づくり」という言葉を使用している。
	委員	４番のテーマの２つ目の項目に関しては児童館ではなく、学校としての内容という認識でよろしいか。
	事務局	その通りである。
	委員	児童館という言葉が反映された反面、学校という言葉が見られなくなった。学校改築が主と考えていたがその点について教えてほしい。
	事務局	今回は児童館を複合した施設となるため、学校づくりという言葉から施設づくりという言葉に変更している。教育環境面については、１番のテーマに記載している。
	委員	学校の中に児童館が併設されるというイメージを持っていたが、一つの敷地内に学校と児童館があるという意図なのか。
	事務局	学校が主であるが、対等な位置関係で児童館が複合していると考えている。学校と児童館により一つの環境を形成することに着目し、基本方針を作成している。
	委員	環境づくりという観点については、プールや高齢者施設も含めて考えているのか。
	事務局	敷地内の既存施設についても視野に入れながら内容の検討をしているが、今回の基本方針については計画している学校と児童館を対象としている。
	委員	２番のテーマに児童館という言葉があるが、その他のテーマに学校という言葉が含まれていないのが気になる。施設全体では学校機能の割合が多いため、学校という言葉を使用するのが良いと思う。１番のテーマに学びの場という言葉があるのであれば、学校という言葉を入れるべきではないか。また、前回入っていた「生徒一人ひとり～」の内容が無くなっているのが気になった。
	事務局	指摘いただいた点については、事務局で確認し、検討させていただく。
	委員	３番のテーマについて、項目３に地域の防災拠点という言葉を使用するのであれば、生徒だけでなく地域の人々も対象となるため、通いやすいではなく利用しやすい等の方がいいのではないか。
	事務局	指摘いただいた点については、事務局で確認し、検討させていただく。
	委員	２番のテーマの「子どもたちの権利が保障される～」の部分については、児童館だけに関わる話ではなく、学校にも関わってくることなので、検討が必要かと思う。

	事務局 委員	学校の子どもたちの権利も保証されるべきものだと考えているので、再度検討させていただく。 児童館の内容を反映させた反面、学校の内容が少し薄くなってしまったように感じられる。委員の方々の意見を反映し、テーマ及び項目の修正していただきたい。
３.配置計画（案）について	設計・事務局 委員 設計 事務局 委員 事務局 委員 委員 事務局 委員	資料３について説明。 Ａ案について、２期工事完了後の給食搬入動線を教えてほしい。 ２階部分で給食室棟と繋がっているので、現在の梅丘中学校と同じようなかたちでの搬入を想定している。 本日欠席されている委員の方については事前に資料を確認いただき、意見を頂戴しているので報告する。 ※以下、頂戴した意見 Ａ案の方が学校と児童館がそれぞれ独立しているため、管理面では良いと思う。Ｂ案は館庭がＡ案と比較して小さいことが気になる。羽根木公園も冬は公園内がすぐ暗くなるのでほとんど遊べないのではないか。専用の館庭があるほうが遊びやすい。Ｂ案は児童館が道路に面している点が良い。Ａ案は敷地の奥に位置しているが、運営開始後に利用者に認知してもらえれば、利用面については問題ないと考える。避難所運営の面では、Ａ、Ｂ案ともに一定期間、格技室が無い期間あるため、工事期間中に大規模災害があった場合に避難所が機能するか配している。 Ｂ案の児童館は、工事中は学校機能として仮使用するということであったが、Ａ、Ｂ案ともに児童館の開設時期は同じなのか。 両案ともに開設時期については２期工事完了後を想定している。 動線についてはＢ案の方が良いかと思う。Ａ、Ｂ案ともに２期工事期間中の給食搬入動線についても配慮されているので問題ないと思う。 児童館から大きい公園に行くことはあるのか教えてほしい。 近隣にある松沢児童館については、館庭がないということも要因の一つかと思うが、羽根木公園を利用しているという話を聞いている。Ｂ案については、羽根木公園との相互利用により子どもたちの遊びの幅が広げられるのではないかと考えている。 羽根木公園を利用する頻度が高いのであれば、児童館へ入る

		動線や、公園への動線を考慮するとＢ案の方が良いかと思う。
	委員	工事期間中、校庭の広さが２，０００㎡程度という話であったが、運動会などはどのように運営していくのか。
	事務局	運動会は学び舎など、他の学校に協力をいただいている。体育の授業は仮校庭や体育館を利用している。
	委員	動線に関して、Ｂ案の方は南側から入るようになっているが、学校用と児童館用の門をそれぞれ設けるという認識でよろしいか。
	事務局	その通りである。学校用の門から北側の位置に児童館用の門を設置する想定である。
	事務局	現状の図では、学校用出入口は西側だけの表記となっているが、南側にも出入口を設置する可能性はある。
	委員	東側道路から２階から入れるというのは、不登校生徒も周りからの視線も受けづらいので良いと思う。
	事務局	児童館へのアクセスは基本的に１階のみとなる。２階から入ってきた際には１階へ下りる動線となる。地域開放や避難所利用の際には、２階から入ってもらい体育館などを利用できる形にしたいと考えている。セキュリティのことなどを含め、今後検討していく。
	委員	Ｂ案の方が若干大きいように見えるが、面積は同じなのか。
		全体面積は大きく変わらない。体育館もステージや器具倉庫などを確保可能な大きさとなっている。
	事務局	Ａ案だと児童館と体育館との距離が大きく、セキュリティをかける位置が２カ所となる。Ｂ案は体育館と児童館が近くに固まっているため、セキュリティ計画が容易だと思われる。
	委員	セキュリティの方法についても運用面について検討をする必要があると思う。また、給食の搬入については、Ａ案は、一度給食室から２階に上げて、渡り廊下を渡り、校舎内に配膳するかたちになる。配膳についてもスタッフ配置や内容についても検討が必要となると思う。セキュリティと配膳経路からＢ案の方が良いと思う。
	事務局	セキュリティに関しては今後検討していくが、地域開放室等をコンパクトにまとめた方が管理しやすいという認識である。給食配膳については、現状委託業務内に含まれているので対応可能かと思う。
	設計	１階の配膳先は特別支援教室が主であり、教室階と比較すると配膳する量は少ないので対応可能かと思う。
	委員	Ａ案では、給食室から２階へ上げて渡り廊下を渡り、校舎の配膳室へ搬入し、その後各階へ配膳する。Ｂ案では１、２階

		で給食棟と校舎が接続しているため、給食室から校舎の配膳室へ搬入後、各階へ配膳するという認識でよろしいか。また、各階への配膳はエレベーターにて行うということでよろしいか。
	事務局	その認識でよろしい。エレベーターについては校舎の配膳室に隣接して計画する予定である。
	委員	給食の配膳について、Ｂ案の給食室棟と校舎棟が１、２階で繋がっていることのメリットがあれば教えてほしい。
	設計	１階部分で校舎の配膳室へ搬入することができ、その後上階へと運ぶことができる。Ｂ案と比較して搬入経路が単純化される。
	委員	Ａ案の２階部分が給食室棟と接続されているのは分かったが、渡り廊下の下部分はどのようになっているのか教えてほしい。
	設計	渡り廊下の下部分になるので、館庭周辺部に一部屋根がかかるようなかたちとなる。
	委員	渡り廊下の下には柱がくるのか。
	設計	児童館に面している部分については、柱を下におとさずに建物躯体にて計画することが可能である。その先の給食室棟につながる部分については、渡り廊下の下部に柱が必要になると思う。
	委員	Ａ案の敷地内の児童館動線について、グラウンドとの境界部分はフェンスか何かで区切るのか。またＢ案の館庭の大きさはどのくらいなのか。
	事務局	動線の境界部分については、フェンスや植え込みなどで区切る想定である。
	設計	館庭の広さについては、Ａ案は２００㎡、Ｂ案は１００㎡程度確保している。
	委員	アクセスのしやすさや管理のしやすさなどを考慮すると道路に面しているＢ案の方が良いと思う。
	委員	日中は学校と児童館を分けないといけない中で、児童館へのアプローチが長いとセキュリティの部分で懸念される点がある。敷地内で施設全体が分断されてしまい、使い勝手があまりよくないのではないかと思う。どの程度のセキュリティを考えているのか。
	事務局	フェンスなどで区画する場合、児童館の管理になると思われる。安全管理上、児童館職員の目が届く範囲についても配慮する必要がある。中学生が主に利用すると想定した中で、学習利用などで夜間開放をするようになった時には、目が届き

		やすい動線やアクセスのしやすさというのは重要だと考えている。 駐輪場も設置することになると思うので、さらに敷地が分断されてしまうのではないかという懸念点もある。
	委員	東側２階出入口の想定されている利用対象者を教えてほしい。
	事務局	地域開放や災害時の一般利用者を想定している。
	委員	東側道路からの入り口部分には駐輪場はあるのか。
	事務局	既存擁壁が現行法令に照らして不適格であるため、建て替えの際に擁壁を新設する想定である。その時に道路部分を２ｍ程度拡幅する想定であり、拡幅部分と合わせて駐輪場を計画することも可能と考えている。
	委員	Ａ案とＢ案で体育館の図面が違うように見えるが、付属室などが異なるのか。
	設計	計画段階であるため、図面の表現に違いが生じているがＡ、Ｂ案ともに器具庫やステージなどを計画する。
	事務局	現段階では、施設全体のゾーニングを行っている段階であるため、詳細な設備等の検討についてはこれから行っていく。
	委員	道路を拡幅されるという話であったが、資料の図面には拡幅部が表現されていないように見える。Ｂ案でいうと館庭部分も少し狭くなる可能性があるのか。
	設計	その通りである。南東部の道路については一部必要な幅員が確保できていないことが分かっているため、その点についても今後検討していく。
	委員	２期工事期間中の給食の配膳はどのようにするのか。
	設計	給食室から配膳車両に積み込み、東側道路を経由して南側出入口から敷地内へ入り、校舎へと搬入する想定である。
	委員	給食室から東側道路までがスロープとなっているが、汁物などを運搬する際には問題ないのか。
	委員	現在も太子堂の調理場から車両にて配送している学校もあるため、問題ないと考えている。
	事務局	Ｂ案について館庭が狭いという意見もあったが、館庭の横には遊戯室を設置することを想定しており、館庭と遊戯室を連携しながら使用することも可能かと思う。Ａ案では、館庭と遊戯室が離れる想定であるため、連携利用は難しいと思う。
	委員	委員の皆様からも多数の意見をいただいた中で、今回は児童館の位置をどこにするかが一つ重要な点になってくることが

		わかっている。皆様の意見を聞いたところ、Ｂ案が優先案となると思う。事務局側としてはどのように考えられているか。
	事務局	教育環境的にはＡ、Ｂ案に違いはないが、児童館運営や地域開放のやり方などを踏まえたうえでＢ案を推奨している。
	委員	児童館の計画的にはどちら推奨しているのか。
	事務局	Ａ案は児童館や館庭の広さで魅力を感じる部分はあるが、アクセスの良さと視認性の良さを考慮するとＢ案を推奨している。児童館は不登校生徒が利用されることもあるので、道路から直接入れる点も良いと考えている。
	委員	委員の皆様の意見も教えてほしい。
	委員	Ａ案については学校と児童館が独立していて管理面や運用面においては良いと思う。館庭もしっかり確保されている。
	委員	学校と児童館がそれぞれ独立している方が良いと考えていたが、今後は同じ建物内にあるという状況も重要になってくるという考えも理解できた。ただ、不登校の生徒は、建物が分かれている方が児童館へ入りやすいという考えもある。館庭とグラウンドの関係性については安全面において配慮する必要があると思う。
	委員	Ａ案の児童館への動線は福祉施設側とグラウンド側のそれぞれにフェンスなどが必要になってくると思う。Ａ、Ｂ案ともに建物形状については体育館部分の段差のない形状とした方が一体感があってよいと思う。
	委員	他の児童館を見ていると児童館への入りやすさという点にはこだわりを持って計画されていると思うため、Ｂ案の方が良いと思う。館庭については、館庭のない児童館もある。特殊なかたちの館庭となるかもしれないが、その形状を生かすように計画すれば問題ないと思う。
	委員	ゾーニングを見るとＢ案の方が良いと思う。館庭などについては今後の課題として検討すればよいかと思う。
	委員	児童館と羽根木公園との関係性やアクセスのしやすさからＢ案が良いと思う。一体でありながら、学校と児童館がそれぞれ独立しているつくりにしていければ、利用しやすさなどにも配慮可能かと思う。
	委員	委員の皆様の意見から、検討委員会としてはＢ案を推奨案とする。次回検討委員会ではＢ案を基に室配置などが提示されると考えてよろしいか。
	事務局	今後、アンケートや中間説明会を予定している。その中から頂戴した意見も参考にしながら、Ｂ案を基に計画案を提示したいと考えている。

４．アンケート（案）について	事務局 委員 事務局 委員 事務局 委員 事務局	資料４－１～５について説明。 資料４－１の質問２の中に昇降口という選択肢があるが、選択があった場合にどのような対応をするのか。 対応の有無については、計画内容にもよるが仮に昇降口について意見を反映するのであれば、昇降口を広く確保したり、明るい場所となるように計画するなどになると思う。理由を記載する欄もあるため、内容を見ながら検討していきたい。 資料４－４の回答者について、近隣・地域住民の選択肢があるが、回答者を地域で把握する必要はないか。問題ないとは思うが、必要あれば分けた方が良いと思う。 検討して対応する。 資料４－１の生徒用のアンケートの中に資料４－２の質問３があった方が良いと思う。 アンケートへ反映する。
５．改築だより第２号（案）について	事務局	資料５について説明。
６．生徒ワークショップ実施結果（速報）について	事務局	資料６について説明。

資料２

梅丘中学校（区立児童館との複合化）改築基本構想
基本方針（案）

１．豊かな学びの場を形成する教育環境づくり

・学習形態や教育環境の変化など多様な学びを実現する可変性のある学習空間を計画します。
・あらゆる空間が学びの場となり、いつでもどこでも主体的に学ぶことができる環境を整備します。
・図書室や特別教室を中心に、探究型の学習が行いやすい施設配置とします。

２．子どもたちの権利が保障される環境づくり

・子どもたち一人ひとりの個性が尊重され、共に学び共に育つインクルーシブな環境を整備します。
・子どもたちにとって安心してくつろげる居場所を整えます。
・さまざまな遊びや仲間たちと出会え、わくわくする体験ができる児童館環境を整えます。

３．安全で誰もが利用しやすい学校・児童館づくり

・セキュリティに配慮し、安全な環境で学び、過ごせる施設とします。
・ユニバーサルデザインに配慮した誰でも使いやすい施設を整備します。
・大規模災害を想定し、地域の防災拠点として整備します。

４．地球環境に配慮した持続可能な学校・児童館づくり

・自然エネルギーの有効活用や省エネ化により、環境負荷を軽減する施設とします。
・生徒が学校生活の中で、日常的に環境と向きあい、学べるエコスクールを整備します。
・木材等自然素材の利用により、居心地の良いぬくもりを感じる施設を整備します。

５．地域と調和し開かれた学校・児童館づくり

・街づくりデザイン指針や「やさしいまちづくり」を反映した景観を整備します。
・周辺施設や羽根木公園との連続性を意識し、地域に開かれた施設を整備します。

資料３

世田谷区立梅丘中学校改築基本構想　生徒ワークショップ実施報告

■開催日時　令和８年7月９日（木）１６時～１７時
■会場　世田谷区立梅丘中学校　ランチルーム

■ファシリテーター　楠山設計：３名
■参加者　生徒：９名（２グループ）
■見学者　校長先生、教職員（２名）、区職員

＜テーマ１＞
「梅丘中学校らしさ」を考えよう。

・**給食**がおいしい。
・季節を感じられる**校庭の樹木**。
・**煎茶道部**用の**和室**がある。
・**室内プール**。
・**図書館**が落ち着く。
・先生が優しく、**生徒とも仲が良い**。

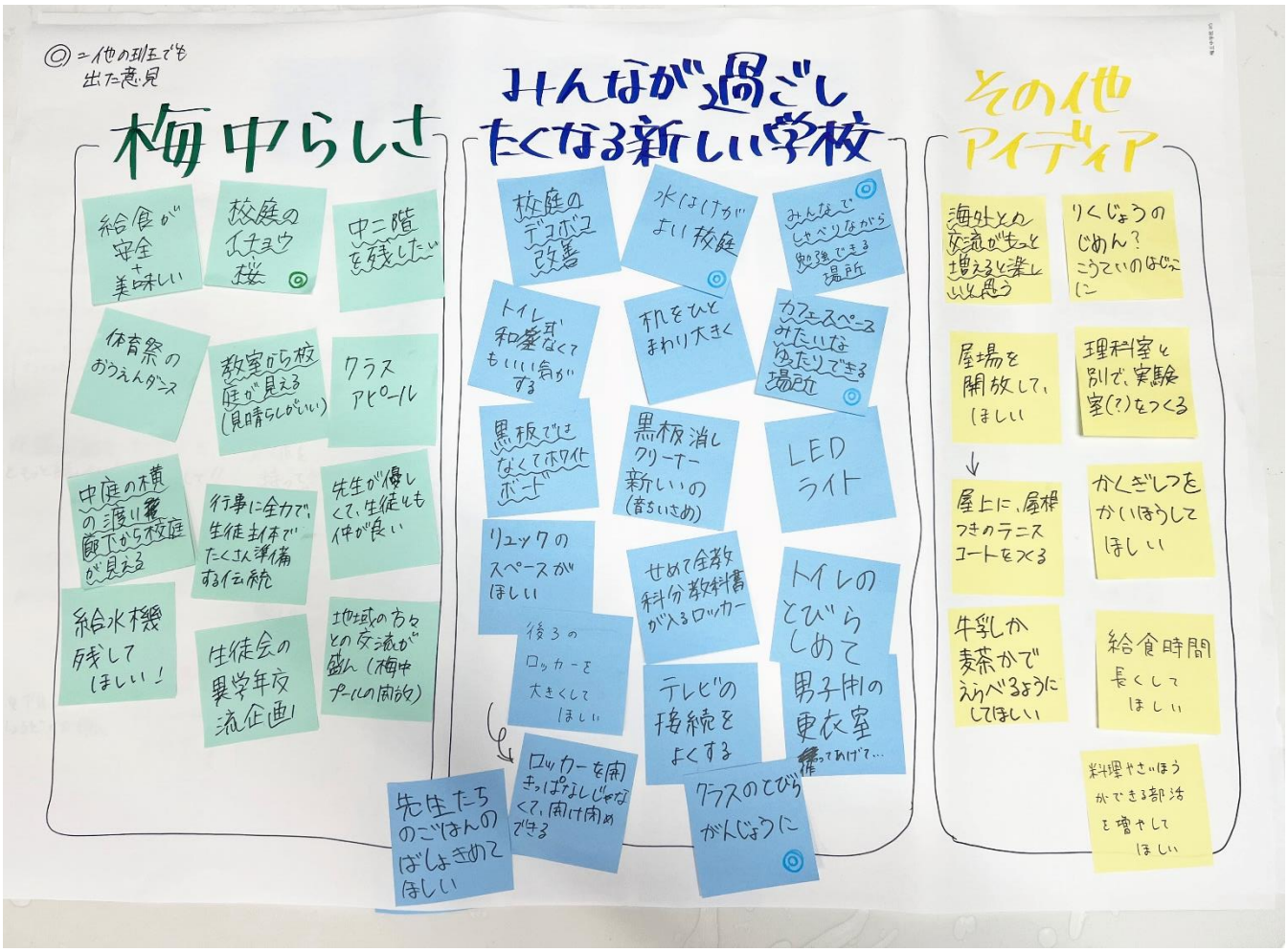
＜テーマ２＞
みんなが過ごしたくなるような新しい学校について考えよう。

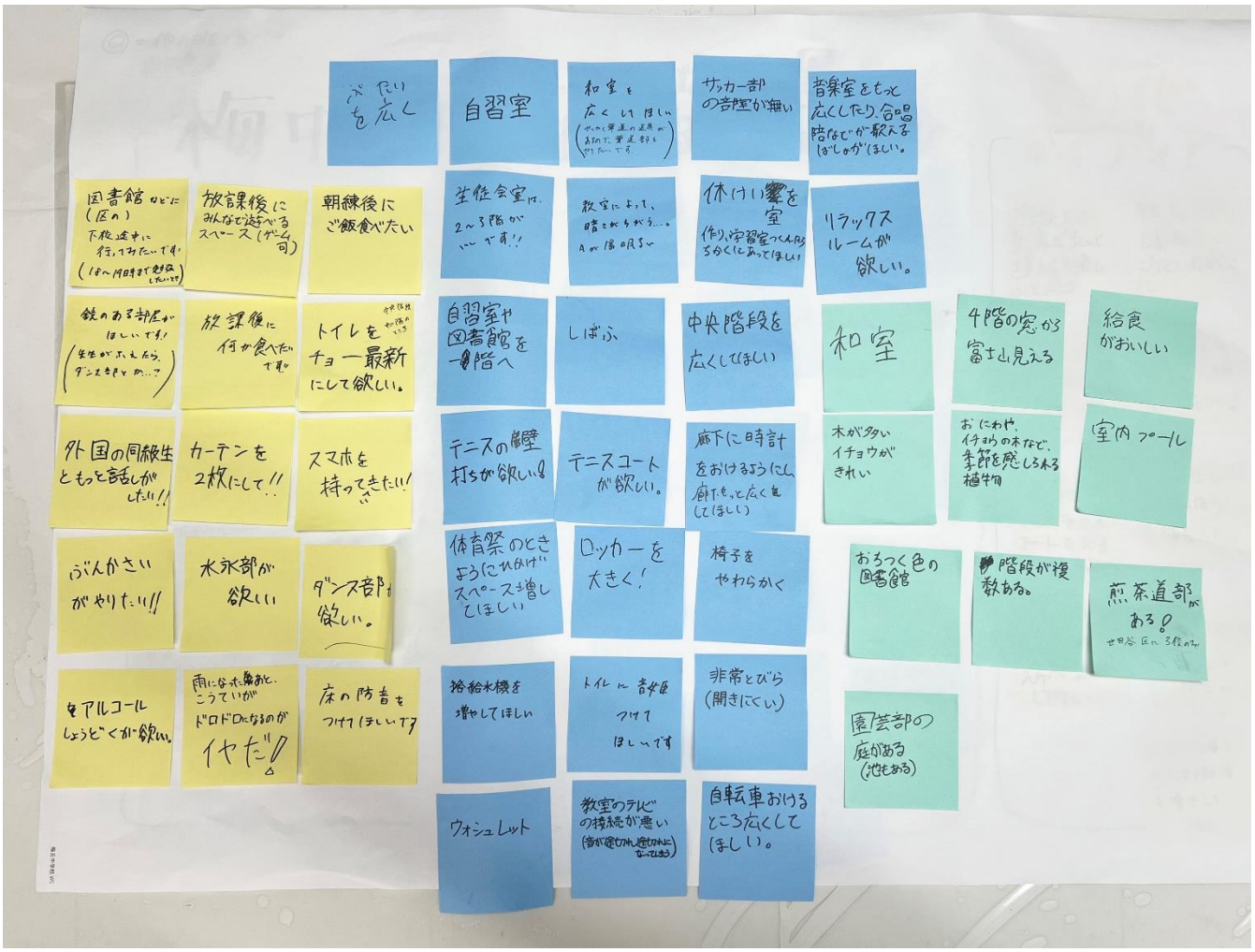
・教室の後ろにある**ロッカーを大きく**してほしい。
・**トイレ設備**を良くしてほしい。
・**自習室**をつくってほしい。
・教室の**テレビの接続**を良くしてほしい。
・**リラックスできる場所**をつくってほしい。
・**校庭の水はけ**を良くしてほしい。
・教室の**照明をＬＥＤに**してほしい。

＜テーマ以外で思いついたアイデア＞

・**海外の生徒との交流**を増やしたい。
・**外国の同級生**ともっと話をしたい。
・**屋上を開放**して欲しい。
・放課後に**みんなで遊べるスペース**が欲しい。
・**ダンス**ができる部屋をつくって欲しい。
・上の階の**音や振動**が、下の階に伝わらないようにして欲しい。

生徒ワークショップ全意見





資料４

世田谷区立梅丘中学校（区立児童館との複合化）改築基本構想中間説明会　開催報告

日　　時	令和８年８月２４日（月）【１回目】１６時～１７時 【２回目】１９時～２０時
場　　所	梅丘中学校　２階ランチルーム
議　　題	１．挨拶 ２．出席者紹介 ３．基本構想検討状況報告 ４．質疑応答
配 布 資 料	世田谷区立梅丘中学校(区立児童館との複合化)改築基本構想中間説明会のスライド
参 加 者 数	【１回目】：５名【２回目】：１名

議　　題	質疑応答内容（要旨）	
質疑応答 【１回目】	参加者	・近隣への影響が大きいのは解体工事だと考えている。解体工事期間中の工事車両の出入口を、南側に移動することはできないか。近隣への工事による影響を最小限としてほしい。
	事務局	・工事計画については、近隣への影響が最小限となるよう検討する。
	参加者	・避難所運営訓練を梅丘中学校の体育館で行っているが、工事期間中は避難所運営訓練を行うことができるのか。
	事務局	・既存体育館は新体育館が完成してからの解体になるため、工事期間中、体育館が使えない期間はない。避難所運営訓練は継続して行えると考えている。
	参加者	・既存の梅丘中学校の状況を写真や映像などで記録として残してほしい。記録する予定はあるか。
	事務局	・記録等については残していく方針である。新しい校舎内に展示するなど、記録の保管法等については今後検討する。
質疑応答 【２回目】	参加者	・１期工事期間中は既存校舎を使って授業を行う形になるのか。また、工事自体は夏休み期間等の限られた期間だけではなく、通年で実施するのか。それにより、工事の音が授業に影響しないのか。
	事務局	・１期工事は通年で、約２年行っていく予定である。その際、工事の音が授業に影響しないよう、できる限りの対策は行っていきたいと考えている。例えばリスニングのテストを行う時などは、施工者と工程を調整する等、対応していく予定である。
	参加者	・校庭も工事期間中は限られた範囲でしか使えなくなってしまうのか。
	学校長	・既存の校庭と比較して半分程度の面積となるが、授業に関しては問題なく行うことができると考えている。しかし、運動会等を行う際には、狭くなってしまうため、近隣の中学校に協力を求める等して、開催していきたいと考えている。